

## 7. 精薄者更生施設「ふじの学園」におけるう蝕罹患状況について(第9回東日本学園大学口腔外科研究会)

著者名(日)	松浦 光洋
雑誌名	東日本歯学雑誌
巻	11
号	1
ページ	134
発行年	1992-06-30
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1145/00007732/">http://id.nii.ac.jp/1145/00007732/</a>

## 7. 精薄者更生施設「ふじの学園」におけるう蝕罹患状況について

歯科医療研 松浦 光洋

精神薄弱者のう蝕に関する疫学的研究では、今までに多くの報告があり、精薄者のう蝕罹患率は健常者に比べて高い、低い、差がないなど、その結果は報告により様々である。我々は、昨年の本研究会において、社会福祉法人「緑星の里」の精薄者更生施設入所者のう蝕罹患状況を調査したところ、精薄者では、う蝕経験歯数は健常者と大きな差はないものの、未処置う蝕と喪失歯が有意に多く、処置歯が有意に少ないという結果を得たことを報

告した。

今回我々は、社会福祉法人「函館緑花会」の精薄者更生施設「ふじの学園」入所者におけるう蝕罹患状況を調査したので、その概要を報告した。

「ふじの学園」の入所者では、う蝕経験歯数は健常者と大きな差はないものの、未処置う蝕喪失歯が有意に多く、処置歯が有意に少なかった。これは、「緑星の里」の入所者と同様の結果であった。

## 8. 精薄者更生施設「樽前希望学園」におけるう蝕罹患状況について

歯科医療研 本間 敦

精神薄弱者のう蝕に関する疫学的研究では、今までに多くの報告があり、精薄者のう蝕罹患率は健常者に比べて高い、低い、差がないなど、その結果は報告により様々である。

我々は、昨年の第8回本研究会で社会福祉法人「緑星の里」の精薄者更生施設入所者のう蝕罹患状況を報告した。今回の研究会では、演題番号7で社会福祉法人「函館緑花会」の精薄者更生施設「ふじの学園」入所者について、う蝕罹患状況を報告した。両施設の入所者では、

う蝕経験歯数は健常者と大きな差はないものの、未処置う蝕喪失歯が有意に多く、処置歯が有意に少なかった。

今回我々は、さらに社会福祉法人「苫小牧希望の里」の精薄者更生施設「樽前希望学園」入所者におけるう蝕罹患状況を調査したので、その概要を報告した。

「希望学園」の入所者では、う蝕経験歯数、未処置う蝕、喪失歯、処置歯の全てにおいて、健常者との差は認められなかった。

## 9. 施設入所精薄者の重症度と、う蝕罹患状況について

歯科医療研 村井 明彦

精神薄弱者更生施設などに入所している精神発達遅延者では、自己の口腔衛生管理や施設での口腔衛生指導・管理が十分でないものと思われ、また、歯科治療が困難な場合が多く、さらに、種々の理由から治療の機会も不足していることが指摘されている。しかし、これらの精神発達遅延者の中には、自己の口腔衛生管理がある程度可能で、歯科治療も健常者と同様に行われている者も少なくない。このような者では、精神発達遅延が軽度の場合が多いものと思われる。

そこで今回我々は、精神発達遅延の重症度と、う蝕罹患状況の関係について調査を試みたので、その概要を報告した。

対象は社会福祉法人「緑星の里」の精薄者更生施設の入所者で、精神発達遅延の程度をI.Q.によって軽度、中度、重度、最重度に分類し、う蝕罹患状況を比較した。重症の者では、未処置う蝕・喪失歯が多くなり、処置歯が少なくなる傾向が認められた。